

長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 佳作

社会を支える「税」

長岡市立北辰中学校

三年 小田 愛佳

私は税について深く考えたことはありませんでした。国のお仕事を
する方たちにとっては重要な事だけど私たち一般市民は関係
ないと思ってました。でも「アナザーワールド」という現世界と
は違うもう一つの世界が存在していたら今の生活はどんなもの
になっているのだろうと考えてしまいます。もし税金のない世だっ
たら、私たちが毎日行き来している道路は壊れても修理できな
いし、安全な暮らしを守る警察官もいなくなってしまう。さ
らには私たち子供の学べる環境が整えられなくなります。税金
がないと、消費税を払う必要がないためとても「楽」に感じます。
でも、私たちが生活していく、生きていく上で税は必要なもの
だと思います。私たちの社会には五十種類もの税金があり、日々
の中で税が私たちを支えているのだと分かりました。この世に税
と関わりのないものはないのです。税金は負担と思う人々は多く
いると思いますが、今生活できているのは、「税」が支えているか
らだと知れば税の大切さを感じるのだと思います。そして、私
が使っている学校の校舎ももちろん税が関係しています。たく
さんのお金が使われた私たち学生のための校舎をこれからも大
切にキレイに使っていこうという気持ちが強まりました。毎日の

清掃をしつかり行うことで私たちの感謝を表していきたいです。
税を納めて、自分の責任を果たすことのできる大人になりたい
し、使われる方が多いのが税なんだと理解することは大切だと
思いました。外国では税金の負担が五十%の国もあります。こ
れからの生活を続けるために必要不可欠なものなのです。私た
ち一人一人が何をすべきか・自分にできることは何かということ
を「税」を学び通して深く考えていくべきと感じました。大人に
なり働けば給料をもらうので所得税・家は住民税など納める税
金は増える一方なので未来のために税を納めていきたいと思
いました。税について学んだことをこれからの生活にどう活かすか
考えていきたいです。税金が使われているものは私たちの身近に
あるもので税によって支えられているこの世界に、私たちは「税
金が負担」と思わずに「感謝するべきもの」と思い、当たり前
の生活が続けていくために税に対するイメージを変えていかなくては
なりません。この国を支えていくのは今を生きている私たちに託
されているのだという自覚と責任を持ち、これからも生きてい
こうと思えました。みなさんも税に関してもっともって考えてみて
ください。